

◆ジェノバ、補正情報にグロナス対応

ジェノバ(本社・東京都千代田区、細谷素之社長)は14日から、ネットワーク型RTK測量向けの補正情報配信サービスに、ロシアのグロナスのデータ対応を始めた。10日から国土地理院が全国で始めた電子基準点の観測データ配信に、GPS(全球測位システム)だけでなくグロナスなどを含めたことに対応した。

対象衛星が増えることで、都市部や山間部など天空への見通しが悪い場所でも測量がしやすくなり、国土交通省が進める情報化施工の普及にもつながる見通しだ。

同社の補正情報配信サービスは、全国の電子基準点の観測データを、日本測量協会を通じてリアルタイムに受信、同社が仮想基準点や面補正パラメータを解析して、補正情報を作成、利用者に提供する。

利用者は、1台数百万円の専用電子基準点を設置しなくても、携帯電話モデムなどを使って数メートル単位のGNSS(全球航法衛星システム)測量ができる。GNSSからの信号は、電離層や大気の状態に応じて変化するため、補正情報が必要となる。

問い合わせは、同社・電話03-52209-6888

建設通信新聞

【建設ICT】

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経    | 2. 朝日    | 3. 毎日    |
| 4. 読売    | 5. 岐阜    | 6. 中伊    |
| 7. 産経    | 8. 静岡    | 9. 伊勢    |
| 10. 中部経済 | 11. 建通   | 12. 日刊工業 |
| ⑬ 建設通信   | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海事 |
| 16. 建設工業 |          |          |

平成25年5月15日(朝)・夕 P12-4